（SIP – 表紙）

**戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）**

**課題名：****スマート防災ネットワークの構築**

**サブ課題提案書**

***注意：青字斜体の文言は記入例または注釈になります。提出時は削除してください。***

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 提案類型  （いずれかに◯を付けてください。） |  | 包括提案（１．へ進む） | |
|  | 個別提案（２．へ進む） | |
| １．サブ課題名選択  （包括提案）  ***（いずれかに◯を付けてください。）*** |  | Ａ　災害情報の広域かつ瞬時把握・共有 | |
|  | Ｂ　リスク情報による防災行動の促進 | |
|  | Ｃ　災害実動機関における組織横断の情報共有・活用 | |
|  | Ｄ　流域内の貯留機能を最大限活用した被害軽減の実現 | |
|  | Ｅ　防災デジタルツインの構築 | |
| ２．研究開発テーマ  （個別提案）  ***（いずれかに◯を付けてください。）※複数可*** | Ａ　災害情報の広域かつ瞬時把握・共有 | | |
|  | A-1 　小型SAR衛星コンステレーション統合利用技術 | |
|  | A-2 　衛星画像分析による被害状況把握・常時モニタリング  技術 | |
|  | A-3 　地上・構造物センシングデータ及び気象データ等の収  集・統合技術 | |
|  | A-4　災害情報の統合分析に基づく被害状況の可視化技術 | |
| Ｂ　リスク情報による防災行動の促進 | | |
|  | B-1 流域スケールの風水害影響予測技術 | |
|  | B-2地域・流域等の特性や脆弱性等に基づく災害リスク評価技術 | |
|  | B-3 リスク情報に基づく被害影響の定量算出技術 | |
|  | B-4防災行動を促すリアルタイム災害リスク情報の評価・生成技術 | |
| Ｃ　災害実動機関における組織横断の情報共有・活用 | | |
|  | C-1災害時情報集約支援体制の高度化 | |
|  | C-2災害実動機関における現場標準システムの開発 | |
|  | C-3災害情報収集・自動解析技術の開発 | |
| Ｄ　流域内の貯留機能を最大限活用した被害軽減の実現 | | |
|  | D-1流域内の貯留・洪水調節機能と氾濫リスクの評価 | |
|  | D-2既存インフラの貯留効果を最大限発揮することを可能とするシステムの開発 | |
|  | D-3水門・排水機場の緊急時操作遠隔化・自動化技術の開発 | |
| Ｅ　防災デジタルツインの構築 | | |
|  | E-1防災デジタルツイン技術 | |
|  | E-2 デジタルツイン群構築のための基盤技術 | |
| ３．研究開発責任者  氏名 |  | | |
| ４．所属機関・部署・役職 |  | | |
| ５．研究者番号 | ***（e-Radへ研究者情報を登録した際に付与される8桁の研究者番号を記載してください。）*** | | |
| ６．サブ課題要旨  (個別提案の場合は研究開発テーマの要旨) | ***「研究開発構想」（SIP - 様式1）の（１）～（８）の項目ごとに、要点をまとめてください。文字数は、全体で1,000文字以内とします。*** | | |
| ７．研究開発期間※１ | 令和５年度研究開始～＊＊年度 | | |
| ８．研究開発費  規模※２  （間接経費含む） | 初年度　　　　　　　　千円  ***（千円未満は四捨五入してください）*** | | 研究開発費総額　　　 　　千円  ***（千円未満は四捨五入してください）*** |

***※１：研究開発期間は提案時における当面の研究開発目標達成までの期間です。***

***最長は令和9年度（5年間）までです。***

***※２：左覧に初年度の研究費を、右欄に研究開発期間における研究開発費総額を記載してください。どちらも間接経費を含む額になります。研究費は、P.52「Ⅱ 4 サブ課題の規模・期間等について」を参照し、研究開発費総額の上限は初年度計上額の5倍までとします。***

（SIP - 様式1）

**１．研究開発構想**

*（****作成に当たっての注意）***

* ***公募審査委員会等が理解しやすいように記述してください。そのため、必要に応じて図や表も用いてください。***
* ***様式1の(1)～(8)について、A4用紙で　10ページ以内（厳守）にまとめてください。***
* ***枚数によらずe-Radへアップロードできるファイルの最大容量は10ＭＢですので、ご注意ください。***
* ***青地斜体の文言は注釈になります。提出時は削除してください。***

1. **研究開発の目的**

***内閣府が作成したSIP「スマート防災ネットワークの構築」戦略及び計画を踏まえ、当該分野に関連する現在の社会の状況（ニーズ等）を分析し、提案する研究開発によってどのようなイノベーションがおこり、社会に還元できるか、記載してください。***

1. **研究開発テーマと目標（社会実装）**

***SIP「スマート防災ネットワークの構築」戦略及び計画を踏まえ、研究期間中に取り組む研究開発テーマとその内容、研究終了時に達成しようとする目標（社会実装）について具体的に記載してください。***

1. **研究開発等の進め方**

***サブ課題及び研究開発テーマの実施にあたり、研究開発における具体的な体制や研究開発の進め方（研究開発終了時の目標とその達成のための毎年度及び三年度途中までに達成すべき目標を含む）について記載してください。***

***また、サブ課題及び研究開発テーマの実施にあたり、予想される問題点とその解決策を記載してください。さらに、包括提案の場合は、各研究開発テーマにて開発されるシステムがどのように位置づけられるか、各研究開発テーマが他の研究開発テーマとどのように連携するか、を明確に記載してください。***

1. **研究開発実施の基盤**

***本研究開発構想を実施するに当たって基盤となるこれまでの研究開発、今までに実施したプロジェクト等の内容と成果、その他の予備的な知見やデータ等（存在する場合）について具体的に記述してください。***

（SIP - 様式1（続き））

（前ページより続く）

1. **国内外の類似研究との比較及び研究の独創性・新規性**

***関連分野の国内外の研究の現状と動向を踏まえて、この研究開発構想の世界の中での位置づけ、独創性、新規性や優位性を示してください。***

1. **社会実装に向けた戦略・取組**

***研究開発によって得られた成果を社会実装するにあたり、現在想定している社会実装に向けた戦略・取組について具体的に記載してください。社会実装戦略の実施に当たっては、研究開発のみならず、研究開発により生み出される新たな技術の実用化に向けた視点(事業)、新たな技術が社会に普及するために必要な制度又は規制作りの視点(制度)、新たな技術が社会に受容されていくために必要なアウトリーチ活動の視点（社会的受容性）、災害に関する多種・膨大な情報を分析して判断できる人材の育成の視点（人材）も含めた5つの視点（技術開発、事業、制度、社会的受容性、人材）での記載をお願いします。また、サブ課題間、研究開発テーマ間の連携等も重要です。想定している連携等があれば具体的に記載してください。(サブ課題間の連携については、本公募要領P29～31「Ⅰ 2 (6)キ 連携体制」を参考に提案ください。)***

*※5つの視点(「技術開発」「事業」「制度」「社会的受容性」「人材」)について*

*本公募要領P43～「Ⅱ 2 各サブ課題における社会実装戦略について」の項目にて、サブ課題ごとにミッション達成に向けて5つの視点(「技術開発」「事業」「制度」「社会的受容性」「人材」)からSIPにて実施すべき取組や関連する取組を整理しております。本公募要領P14～「Ⅰ 2（３）社会実装戦略」、P43～「Ⅱ 2 各サブ課題における社会実装戦略について」を参考に技術開発の達成のみならず、社会実装に向けた戦略として、事業、制度、社会的受容性、人材の視点も踏まえた記述をお願いします。*

1. **産業界等からの貢献**

***各年度の産業界等からの資金見込額及びその内容について具体的に記載してください。***

（SIP - 様式1（続き））

（前ページより続く）

**（８） 研究推進のスケジュール**

***サブ課題全体の研究推進の主なスケジュールを記載してください。項目は内容に従って適宜設定してください。(本スケジュールには、SIPにて実施する項目を記載ください。)***

***（記入例）***

| **５つの視点** | **項目** | **初年度**  （R5.〇～  R6.3） | **２年度**  （R6.4～  R7.3） | **３年度**  （R7.4～  R8.3） | **４年度**  （R8.4～  R9.3） | **最終年度**  （R9.4～  R10.3） |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **〇-1 研究開発テーマ〇〇**  **記入例）A-1　小型SAR衛星コンステレーション統合利用技術** | | | | | | |
| ***技術開発*** | ***○○特性の解析*** |  |  |  |  |  |
| ***○○モデルの構築*** |  |  |  |  |  |
| ***データの取得・解析*** |  |  |  |  |  |
| ***○○手法の開発*** |  |  |  |  |  |
| ***実験の実施*** |  |  |  |  |  |
| ***評価実施と効果検証*** |  |  |  |  |  |
| ***事業*** | ***技術動向周辺調査*** |  |  |  |  |  |
| ***協調領域の構築*** |  |  |  |  |  |
| ***民間企業等による技術活用（フィードバック・検証含む）*** |  |  |  |  |  |
| ***制度*** | ***関連する法制度への働きかけ*** |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| ***社会的受容性*** | ***アウトリーチ活動*** |  |  |  |  |  |
| ***例）ワークショップ、学会発表*** |  |  |  |  |  |
| ***人材*** | ***〇〇人材の育成*** |  |  |  |  |  |
| ***(必要とする人物像を掲げ、その実現に必要な人材の確保、教育について)*** |  |  |  |  |  |
| **〇-2　研究開発テーマ〇〇** | | | | | | |
| ***技術開発*** | ***○○特性の解析*** |  |  |  |  |  |
| ***○○モデルの構築*** |  |  |  |  |  |
| ***データの取得・解析*** |  |  |  |  |  |
| ***○○手法の開発*** |  |  |  |  |  |
| ***実験の実施*** |  |  |  |  |  |
| ***評価実施と効果検証*** |  |  |  |  |  |
| ***事業*** |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| ***制度*** |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| ***社会的受容性*** |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| ***人材*** |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

（SIP - 様式2-1）

**２−１．研究開発実施体制（１）**

（実施体制の構成図）

***※ サブ課題の実施体制については、採択後に見直しをお願いすることがあります。***

***※ サブ課題の構成が簡単に分かるように、研究開発テーマを単位として図示してください。研究開発チーム外の協力機関がいる場合には、協力機関との関係も記載してください。***

***※ 研究開発責任者が属する機関を研究開発機関とし、それ以外の機関を共同研究開発機関としてください。***

***※ 各機関の分担する研究開発の項目のほか、それぞれの機関で責任者として中心的な役割を果たす方の氏名を記載してください。***

***※チーム全体の責任者として中心的な役割を果たす方の氏名を青字にて記載してください。***

***※チーム内で社会実装の責任者として中心的な役割を果たす方の所属・役職・氏名を青字にて記載してください。***

***※研究開発責任者・主たる共同研究者が社会実装責任者・社会実装担当者を兼ねることは可能ですが、専任の者がいることが望ましいものとします。***

***＜例＞***

研究開発チーム

共同研究開発機関（１）

主たる共同研究者：

実施研究開発テーマもしくは役割：

社会実装担当者：

研究開発機関

研究開発責任者：

実施研究開発テーマもしくは役割：

社会実装責任者：

共同研究開発機関（２）

主たる共同研究者：

実施研究開発テーマもしくは役割：

社会実装担当者：

共同研究開発機関（３）

主たる共同研究者：

実施研究開発テーマもしくは役割：

社会実装担当者：

フィードバック

データ提供

協力機関：

協力者：

実施研究開発テーマもしくは役割：

（SIP - 様式2-2）

**２−２．研究開発実施体制 （２）**

（研究開発機関の体制）

***※研究開発責任者が所属する研究機関における研究開発参加者を記入してください。***

***※研究開発責任者と同じ所属機関の研究開発参加者が、研究開発機関の研究開発テーマ及び概要とは明確に異なる内容で参加する場合は、共同研究開発機関として記入しても結構です。***

**研究開発機関**

***（記入例）***

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **研究機関名** | ***国立大学法人　◇◇大学*** | | | |
| **担当** | **氏名** | **所属部署・役職** | **専門** | **エフォート**  **（研究開発責任者のみ）** |
| ***研究開発責任者*** | ***○○　○○*** | ***＊＊研究科・教授*** | ***地震工学*** | ***○○***％ |
| **researchmap等URL：*https://researchmap.jp/xxxxxxxxxx*** | | | |
| ***＊＊の開発に従事*** | ***○○　○○*** | ***＊＊研究科・准教授*** | ***地震工学*** | － |
| **researchmap等URL：*https://researchmap.jp/xxxxxxxxxx*** | | | |
| ***社会実装責任者*** | ***〇〇　〇〇*** | ***＊＊研究科・教授*** | ***＊＊学*** | － |
| **researchmap等URL：*https://researchmap.jp/xxxxxxxxxx*** | | | |
| ***＊＊の実装に従事*** | ***○○　○○*** | ***＊＊研究科・准教授*** | ***＊＊学*** | － |
| **researchmap等URL：*https://researchmap.jp/xxxxxxxxxx*** | | | |

***※エフォートには、研究者の年間の全仕事時間（研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む）を100％とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率（％）を記入してください。***

***※研究開発機関の構成メンバーについてはその果たす役割等について十分検討してください。***

***※研究開発参加者の専門分野、学歴、経歴、論文、著書、共同研究・競争的資金等の獲得状況等の情報が掲載されたウェブサイト（例：researchmap）のURLを記載してください。***

***※研究開発参加者のうち、提案時に氏名が確定していない研究員等の場合は、「研究員○名」といった記述でも結構です。***

***※研究開発参加者の行は、必要に応じて追加してください。***

* **特記事項**

***※特別の任務等（研究科長等の管理職、学会長など）に仕事時間（エフォート）を要する場合には、その事情・理由を記入してください。***

* **研究開発テーマ及び概要**
  + **研究開発テーマ**
  + **研究開発概要**

（SIP - 様式2-2（続き））

（前ページより続く）

***※研究開発機関が担当する研究の概要を簡潔に記載してください。***

* + **研究開発構想における位置づけ**

***※研究構想を実現するために研究開発責任者が果たす役割等を記載してください。***

* + **研究開発テーマの社会実装**

***※社会実装を実現するために社会実装責任者または社会実装担当者が果たす役割等を記載してください。***

（SIP - 様式2-3）

**２−３．研究開発実施体制 （３）**

（共同研究開発機関の体制）

***※研究開発責任者の所属機関以外の研究機関（共同研究開発機関）の研究者が加わる場合、その研究開発参加者を研究機関ごとに記入してください。***

***※産学官からの様々な研究機関を共同研究開発機関とすることが可能です。***

***※共同研究開発機関の数に上限はありませんが、研究開発構想の遂行に最適で必要な研究開発チームを編成してください。研究開発責任者が担う役割が中心的でない、共同研究開発機関の役割・位置づけが不明である研究開発チームの編成は、研究開発実施体制としては不適切です。***

***※研究開発チームとして研究開発機関以外の共同研究開発機関を加えることは、必須ではありません。***

**共同研究開発機関（１）**

***（記入例）***

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **研究機関名** | ***国立研究開発法人　◇◇研究所***　（所属研究機関コード１）） | | | |
| **担当** | **氏名** | **所属部署・役職** | **専門** | **エフォート （主たる共同研究者のみ）** |
| ***主たる共同研究者*** | ***○○　○○***  ***（研究者番号2））*** | ***＊＊研究部 主任研究員*** | ***＊＊学*** | ***○○***％ |
| **researchmap等URL：*https://researchmap.jp/xxxxxxxxxx****3)* | | | |
| ***＊＊の開発に従事*** | ***○○　○○*** | ***＊＊研究部　研究員*** | ***＊＊学*** | － |
| **researchmap等URL：*https://researchmap.jp/xxxxxxxxxx*** | | | |
| ***社会実装***  ***担当者*** | ***〇〇　〇〇*** | ***＊＊研究部　主任研究員*** | ***＊＊学*** | － |
| **researchmap等URL：*https://researchmap.jp/xxxxxxxxxx*** | | | |
| ***社会実装***  ***担当者*** | ***○○　○○*** | ***○○研究部　研究員*** | ***＊＊学*** | － |
| **researchmap等URL：*https://researchmap.jp/xxxxxxxxxx*** | | | |

***1）主たる共同研究者は、所属先のe-Rad所属研究機関コードを記載してください。***

***2）主たる共同研究者は、e-Radへ研究者情報を登録した際に付与される8桁の研究者番号を記載してください。***

***3）研究開発参加者の専門分野、学歴、経歴、論文、著書、共同研究・競争的研究費等の獲得状況等の情報が掲載されたウェブサイト（例：researchmap）のURLを記載してください。***

***4）研究開発参加者の行は、必要に応じて追加・削除してください。***

* **研究開発テーマ及び概要**
  + **研究開発テーマ**
  + **研究開発概要**

***※本共同研究開発機関が担当する研究開発の概要を簡潔に記載してください。***

* + **研究開発構想における必要性**

（SIP - 様式2-3（続き））

（前ページより続く）

***※研究開発構想を実現するために本共同研究開発機関が必要不可欠であることの理由、位置づけ（研究開発責任者及び研究開発機関との役割等の関係を含む）等を記載してください。***

* + **研究開発構想における位置づけ**

***※研究構想を実現するために主たる共同研究者が果たす役割等を記載してください。***

* + **研究開発テーマの社会実装**

***※社会実装を実現するために社会実装責任者または社会実装担当者が果たす役割等を記載してください。***

* **研究開発進捗による研究開発実施体制変更について*（変更が予想される場合のみ記入）***

***※研究開発が順調に進捗し、開始当初は参画の必要がないが、進捗に従い新規の共同研究開発機関等が必要になると予想される場合に、増強分野・サブ研究開発テーマ・時期等について記入してください。（候補者の名前を記入する必要はありません）。***

（SIP - 様式2-4）

**２－４．研究開発実施体制 （４）**

（協力機関の体制）

**研究開発チームへの協力機関**

***※実際に研究開発を行う研究開発機関、共同研究開発機関とは別に、本研究開発に対して協力する機関（協力機関）の協力者がいる場合、その協力者、本研究開発への協力内容及び研究開発チームとの間でのこれまでの協力関係の有無も記載してください。***

***（記入例）***

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **組織名または所属・役職・氏名** | **本研究開発への協力内容** | **これまでの**  **協力関係の有無** |
| ***○○　○○　△△大学***  ***△△学部　教授*** | ***○○に関する助言、協力*** | ***有*** |
| ***○○研究所***  ***△△会社　△△部長*** | ***データ提供*** | ***無*** |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**○　研究開発チームと協力機関の協働の具体的な方法**

***※研究開発チーム間及び研究開発チームと協力機関、それぞれが協働する具体的な方法について記載してください。***

**○　研究開発チームと協力機関の関係**

***※研究開発チームと協力機関との間にこれまでに協力関係があった場合には、どのような協力関係があったかを、協力機関ごとに記載してください。***

***※また、現時点での協力機関との関係はどのようになっているか、協力機関ごとに具体的に記載してください。***

（SIP - 様式3）

**３．研究開発資金計画**

***※当初の研究開発期間における研究開発チーム全体の年次計画概要、費目別の研究開発資金計画と研究開発グループ別の研究開発資金計画を年度毎に記入してください。***

***※面接選考の対象となった際には、さらに詳細な研究開発資金計画を提出いただきます。***

***※採択された後の研究開発費は、SIP全体の予算状況、PD等によるマネジメント、年度末評価の状況等に応じ、研究開発期間の途中に見直されることがあります。***

***※研究開発実施体制は、研究構想を実現するために必要十分で最適な編成を提案してください。支援グループを編成する場合、その必要性や予算配分の妥当性、コストパフォーマンス等も重要な選考の観点となります。***

***（記入例）***

* **実施項目別の研究開発資金計画（線表）（サブ課題全体）**

***実施項目ごとに、実施機関が分かるように記載してください。また、線表の下に経費見込額（間接経費を含む）を記載してください。***

［単位：千円］

| **5つの視点** | **項目** | **初年度**  （R5.〇～  R6.3） | **２年度**  （R6.4～  R7.3） | **３年度**  （R7.4～  R8.3） | **４年度**  （R8.4～  R9.3） | **最終年度**  （R9.4～  R10.3） | **合計** |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ***技術開発*** | ***(１)・・に関する研究開発***    ***①・・・に関する設計***  ***②・・・に関する実装***  ***(２)・・に関する研究開発***  ***・***  ***・*** |  | ***・・の設計(○○大学)***  ***○○千円*** |  | ***〇〇千円***  ***・・の実装(××研究所)*** |  |  |
| ***事業*** | ***(１)・・協調領域の構築***  ***(２)・・民間企業等による技術活用（フィードバック・検証含む）*** | ***打ち合わせ旅費(○○大学)***  ***〇〇千円*** |  |  |  | ***〇〇千円***  ***(民間企業等による技術活用（フィードバック・検証含む）○○会社)*** |  |
| ***制度*** | ***(１)・・・***  ***(２)・・・*** |  |  |  |  |  |  |
| ***社会的受容性*** |  |  |  |  |  |  |  |
| ***人材*** |  |  |  |  |  |  |  |
|  | **合計** |  |  |  |  |  |  |

（SIP - 様式3（続き））

（前ページより続く）

**「費目別の研究開発資金計画」（下表）は別添Excel様式にて提出してください。**

***（記入例）***

* **費目別の研究開発資金計画（サブ課題全体）**［単位：千円］

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **初年度**  （R5.〇～  R6.3） | **２年度**  （R6.4～  R7.3） | **３年度**  （R7.4～  R8.3） | **４年度**  （R8.4～  R9.3） | **最終年度**  （R9.4～  R10.3） | **合計** |
| **Ⅰ 物品費1)** |  |  |  |  |  |  |
| **Ⅱ 旅費2)** |  |  |  |  |  |  |
| **Ⅲ 人件費・諸謝金3)**  **（研究員等の数）** |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| **Ⅳ その他4)** |  |  |  |  |  |  |
| **直接経費（Ⅰ～Ⅳ） 小計** |  |  |  |  |  |  |
| **間接経費（◯％）** |  |  |  |  |  |  |
| **合計** |  |  |  |  |  |  |

***※研究開発費の費目と、その使途は以下のとおりです。***

1. ***物品費：設備、材料、消耗品を購入するための経費***
2. ***旅費：研究開発責任者、主たる共同研究者及び研究参加者の旅費、招へい旅費等***
3. ***人件費・諸謝金：研究員・技術員・研究補助者等の人件費、諸謝金***

***（研究員等の数）：研究開発費で人件費を措置する予定の研究参加者の人数***

1. ***その他：上記の他、当該研究開発を遂行するために必要な経費***

***（研究成果発表費用、機器リース費、運搬費等）***

***※間接経費は、直接経費の15%を上限に設定できます。公募要領P.91 「Ⅲ 3　間接経費について」参照***

* **特記事項**

***※研究開発費総額に占める割合が、人件費50%、旅費30%を超える場合は、その理由を本項に記載してください。***

（SIP - 様式3（続き））

（前ページより続く）

**「機関別の研究開発資金計画」（下表）は別添Excel様式にて提出してください。 Excelシート3枚目以降の積算資料も提出してください。**

* **機関別の研究開発資金計画**

***※研究構想を実現する上で適切な研究開発資金計画であり、研究開発のコストパフォーマンスが考慮されていることや、共同研究開発機関への予算配分の妥当性も重要な選考の観点となります。なお、研究開発費には間接経費を含みます。***

***（記入例）***［単位：千円］

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **研究機関名** | **初年度**  （R5.〇～  R6.3） | **２年度**  （R6.4～  R7.3） | **３年度**  （R7.4～  R8.3） | **４年度**  （R8.4～  R9.3） | **最終年度**  （R9.4～  R10.3） | **合計** |
| **研究開発機関** |  |  |  |  |  |  |
| **共同研究開発**  **機関（１）** |  |  |  |  |  |  |
| **共同研究開発**  **機関（２）** |  |  |  |  |  |  |
| **合計** |  |  |  |  |  |  |

* **活用予定の主要設備（機器名、設置場所）**

***（記入例）○○○○○○ ○○大学***

***○○○○○○ ○○大学***

***○○○○○○ ○○大学***

***○○○○○○ ○○研究機構***

***○○○○○○ ○○大学 （基盤ネットワーク拠点整備装置）***

* **購入予定の主要設備（1件500千円以上、機器名、概算価格）**

***（記入例）○○○○○○ ○○○○千円***

***○○○○○○ ○○○○千円***

***○○○○○○ ○○○○千円***

***○○○○○○ ○○○○千円***

***○○○○○○ ○○○○千円***

***○○○○○○ ○○○○千円***

（SIP - 様式4）

**４．研究開発責任者の略歴**

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発責任者  氏名 |  |
| 学歴  （大学卒業以降） | ***（記入例）***  ***昭和◯◯年　◯◯大学◯◯学部卒業***  ***昭和◯◯年　◯◯大学大学院○○研究科修士課程○○専攻修了***  ***（指導教官：○○○○教授）***  ***昭和○○年 ◯◯大学大学院◯◯研究科博士課程○○専攻修了***  ***（指導教官：○○○○教授）【記入必須※】***  ***平成○○年　博士（○○学）（○○大学）取得***  ***※　利害関係にある評価者の排除のため、指導教官名、所属した研究室の室長名は必ず記載してください。*** |
| 研究歴  （主な職歴と  研究内容） | ***（記入例）***  ***昭和◯◯年～◯◯年　◯◯大学◯◯学部　助手***  ***○○教授研究室で◯◯◯◯◯について研究***  ***昭和◯◯年～○○年　　◯◯研究所　研究員***  ***○○博士研究室で◯◯◯に関する研究に従事***  ***平成◯◯年～◯◯年 ◯◯大学◯◯学部教授***  ***◯◯◯について研究*** |
| 照会先  （利害関係にも言及すること） | ***応募者の研究について良くご存じの方を3名以上挙げてください（外国人でも可）。それぞれの方の氏名、所属、連絡先（電話/電子メールアドレス）を記入してください。選考（事前評価）の過程で、評価者（推進委員会委員等）が、提案内容に関して照会する場合があります。***  ***応募者と利害関係がある場合には、利害関係の内容についても記入してください（利害関係の定義は公募要領P.56「Ⅱ 6（3）利害関係者の選考への不参加」を参照ください）。***  ***（記入例）***  ***○○　○○：○○大学大学院工学研究科***  ***TEL：XX-XXXX-XXXX、E-mail：XXXX@XX.ac.jp***  ***利害関係：なし***  ***□□　□□：□□研究所□□研究室***  ***TEL：XX-XXXX-XXXX、E-mail：XXXX@XX.or.jp***  ***利害関係：共同プロジェクト（NEDO）実施中*** |

（SIP - 様式5）

**５．論文・著書リスト（研究開発責任者）**

* **主要文献**

著者・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年

***※近年に学術誌等に発表した論文、著書等のうち今回の提案に関連すると思われる重要なものを選んで、A4用紙1ページ程度で現在から順に発表年次を過去に遡って記入してください。記載項目は上記のとおりであり、書式は任意です。***

* **参考文献**

著者・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年

***※上記以外にも提案を理解する上で必要な関連文献がありましたら挙げてください。記載項目は上記のとおりであり、書式は任意です。***

（SIP - 様式6）

**６．論文・著書リスト（主たる共同研究者）**

* **主要文献**

著者・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年

***※近年に学術誌等に発表した論文、著書等のうち今回の提案に関連すると思われる重要なものを選んで、A4用紙1ページ程度で現在から順に発表年次を過去に遡って記入してください。記載項目は上記のとおりであり、書式は任意です。***

* **参考文献**

著者・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年

***※上記以外にも提案を理解する上で必要な関連文献がありましたら挙げてください。記載項目は上記のとおりであり、書式は任意です。***

（SIP - 様式7）

**７．特許リスト**

* **主要特許**

出願番号・発明者・発明の名称・出願人・出願日

***※近年に出願した特許のうち今回の提案に関連すると思われる重要なものを選んで、***

***A4用紙1ページ程度で記入してください。特許に関係した研究開発責任者または主たる共同研究者を付記してください。***

（SIP - 様式8）

**８．社会実装責任者・社会実装担当者の経歴・経験**

* **経歴**

***※社会実装責任者又は社会実装担当者の経歴をA4用紙最大1ページ程度で記載してください。書式は任意です。***

* **研究成果の社会実装に関わった経験**

***※これまでの研究成果や社会実装に関わった経験がある場合は、その具体的な内容を記載してください。書式は任意です。***

（SIP - 様式9）

**９．他制度での助成等の有無**

***研究開発責任者及び主たる共同研究者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的研究費制度やその他の研究助成等制度での助成等について、制度名ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォート等を記入してください。記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。***

***＜ご注意＞***

* + ***「Ⅲ 5（2）不合理な重複・過度の集中に対する措置」に関して、公募要領P.92～94を参照してください。***
  + ***現在申請中・申請予定の研究助成等について、この研究提案の選考中にその採否等が判明するなど、本様式に記載の内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、巻末のお問い合わせ先まで電子メールで連絡してください。***

***（記入例）***

**研究開発責任者（応募者）：氏名*○○　○○***

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **制度名1）** | **研究課題名**  **（代表者氏名）** | **研究**  **期間** | **役割2）**  **（代表/**  **分担）** | **(1)本人受給研究費3）**  **（期間全体）**  **(2)〃(令和4年度実績）**  **(3)〃(令和5年度予定）**  **(4)〃(令和6年度予定）** | **ｴﾌｫｰﾄ4）**  **（％）** |
| ***科学研究費補助金 基盤研究（S）*** | ***○○○○○○○○○○*** | ***R3.4***  ***－***  ***R8.3*** | ***代表*** | ***（1）****○○○○千円*  ***（2）****○○○○千円*  ***（3）****○○○○千円*  ***（4）****○○○○千円* | ***20*** |
| ***科学技術○○○○費*** | ***○○○○○○○○○○***  ***（○○　○○）*** | ***R4.4***  ***－***  ***R7.3*** | ***分担*** | ***（1）****○○○○千円*  ***（2）****○○○○千円*  ***（3）****○○○○千円*  ***（4）****○○○○千円* | ***10*** |
| ***（申請中）○○財団○○研究助成*** | ***○○○○○○○○○○*** | ***R5.4***  ***－***  ***R6.3*** | ***代表*** | ***（1）****○○○○千円*  ***（2）****－*  ***（3）****○○○○千円*  ***（4）****－* | ***5*** |
| ・・・5） | ・・・ | ・・・ | ・・・ | ・・・ | ・・・ |

***1）現在受けている、または採択が決定している助成等について、本人受給研究費（期間全体）が多い順に記載してください。その後に、申請中・申請予定の助成等を記載してください（「制度名」の欄に「（申請中）」などと明記してください）。***

***2）「役割」は、代表または分担等を記載してください。***

***3）「本人受給研究費」は、ご本人受給している金額（直接経費）を記載してください。***

***4）「エフォート」は、年間の全仕事時間（研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む）を100％とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率（％）を記載してください【総合科学技術会議における定義による】。本制度に採択されると想定した場合のエフォートを記載してください。申請中のものは採択された場合のエフォートを記載してください。***

***5）必要に応じて行を増減してください。***

（SIP - 様式9（続き））

（前ページより続く）

***（記入例）***

**主たる共同研究者：氏名　*◇◇　◇◇***

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **制度名1）** | **研究課題名**  **（代表者氏名）** | **研究**  **期間** | **役割2）**  **（代表/**  **分担）** | **(1)本人受給研究費3）**  **(期間全体）**  **(2)〃(令和4年度実績）**  **(3)〃(令和5年度予定）**  **(4)〃(令和6年度予定）** | **ｴﾌｫｰﾄ4）**  **（％）** |
| ***厚生労働科学研究費補助金*** | ***◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇*** | ***R3.4***  ***－***  ***R8.3*** | ***代表*** | *(1) ○○○○千円*  *(2) ○○○○千円*  *(3) ○○○○千円*  *(4) ○○○○千円* | ***20*** |
| *・・・5）* | *・・・* | *・・・* | *・・・* | *・・・* | *・・・* |

***（記入例）***

**主たる共同研究者：氏名*□□　□□***

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **制度名1）** | **研究課題名**  **（代表者氏名）** | **研究**  **期間** | **役割2）**  **（代表/**  **分担）** | **(1)本人受給研究費3）**  **(期間全体）**  **(2)〃(令和4年度実績）**  **(3)〃(令和5年度予定）**  **(4)〃(令和6年度予定）** | **ｴﾌｫｰﾄ4）**  **（％）** |
| ***科学研究費補助金 新学術領域*** | ***□□□□□□□□□□□□***  ***（□□　□□）*** | ***R4.4***  ***－***  ***R9.3*** | ***分担*** | （*1）○○○○千円*  *（2）○○○○千円*  *（3）○○○○千円*  *（4）○○○○千円* | ***15*** |
| ・・・5） | ・・・ | ・・・ | ・・・ | ・・・ | ・・・ |

***1）～5）については前ページのカッコ内を参照ください。***

（SIP - 様式10）

**１０．ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標**

|  |
| --- |
| 認定等の有無： |
| 認定等の名称：（認定段階： ）  　　　　　　 （計画期間：令和○年○月○日～令和○年○月○日） |

* ***えるぼし認定、プラチナえるぼし認定、くるみん認定、トライくるみん認定、プラチナくるみん認定及びユースエール認定については、認定通知書の写しを、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画（策定義務のない事業主（常時雇用する労働者が 300人以下のもの）が努力義務により届出たものに限る。）については、労働局の受付印のある一般事業主行動計画策定届の写しを添付してください。***
* ***認定段階については、えるぼし認定の認定段階（１～３）を、計画期間については、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律及び次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画に示された計画期間を明記してください。***
* ***事業者の経営における主たる事業所（本社等）において取得しており、かつ、提案書提出時点において認定等の期間中であるものに限ります。***

**１１．人権の保護及び法令等の遵守への対応**

* ***研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、研究機関内外の委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となります。***

***なお、該当しない場合には、その旨記述してください。***

**１２．その他特記事項**

* ***SIPに応募した理由、研究開発に際してのご希望、ご事情その他について、自由に記入してください。***
* ***海外の研究機関を研究開発チームに加える場合は、海外の研究機関に所属する共同研究者が必要であることの理由を記入してください。***
* ***研究開発実施場所が現在の所属機関と異なる場合は、その理由を記入してください。***
* ***特筆すべき受賞歴等がある場合には、必要に応じてこちらに記入してください。***
* ***研究開発実施期間中に研究開発責任者が定年を迎える場合、定年後の研究開発実施体制に関する考えや予定を記入してください。具体的な体制について、面接審査にて詳しい説明をお願いすることがあります。また、面接審査時に、所属（もしくは予定している）機関の長による機関内での身分保障等を明記した承諾書の提出をお願いすることがあります。所属機関長とは人事権を有する長を指します。***

（SIP - 様式11）

**誓 約 書**

私及び当法人等は、下記１及び２のいずれにも該当しません。また、将来においても該当することはありません。この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。また、当方の個人情報を警察に提供することについて同意します。

記

１．契約の相手方として不適切な者

（１）法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77 号）第2 条第2 号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき

（２）役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的、又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき

（３）役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき

（４）役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしているとき

（５）役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき

２．契約の相手方として不適当な行為をする者

（１）暴力的な要求行為をする者

（２）法的な責任を超えた不当な要求行為を行う者

（３）取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為を行う者

（４）偽計又は威力を用いて契約担当官等の業務を妨害する行為を行う者

（５）その他前各号に準ずる行為を行う者

委託事業　戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）  
課題「スマート防災ネットワークの構築」

令和　年 　月　 日

住所（又は所在地）

機関名及び応募申請者名

生年月日

＊個人の場合は上記に記名するに当たって、生年月日も併記してください。

＊法人の場合は役員の氏名及び生年月日が明らかとなる資料を添付してください。

（SIP - 様式11（続き））

***※チーム提案の場合は、機関毎に用紙を分けて作成してください。***

***※応募申請者名として、所属する機関の代表者（代表取締役、学長、理事長等）名を記載してください。***

***※個人の場合は生年月日を記載してください。***

***※法人の場合は全ての役員の氏名及び生年月日が明らかとなる資料を添付してください。***

***※記名押印の場合は、契約書を締結するときと同じ印を押印してください。***

***※国立大学法人、国立研究開発法人及び地方自治体は提出不要です。***